

は し が き

当研究所では、昭和 58 年度の地域住宅計画(通称 HOPE 計画、以下 HOPE 計画という)制度創設以来、多くの HOPE 計画策定に参加・協力する一方、策定後の HOPE 計画に関わる活動や実施された事業等の調査を継続的に行ってきた。また平成 7、8 年度、および平成 15 年度には、HOPE 計画推進協議会とともに全国調査を実施した。これら一連の活動によって収集された資料は、HOPE 計画の趣旨に則り建設されたモデル住宅や、個人住宅、公営住宅や住宅団地、あるいは道路、公園や各種施設の整備、さらに総合的なまちづくりなどを含んでおり、それらの総数は 900 件近くになる。

ところで、平成 15 年度には HOPE 計画創設 20 周年を迎え、HOPE 計画 20 周年記念大会が長崎県島原市で開催された。HOPE 計画推進協議会では 20 周年を迎えるにあたり、これまでの地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりを支えてきた多くの人々の努力に敬意を表するために、HOPE 賞を創設した。また、この HOPE 賞の選考は、当研究所がこれまでに収集した資料に基づき行われた。この結果、HOPE 計画の趣旨に十分に生かした活動や物件が選ばれたことになる。

これらの活動や物件は、HOPE 計画の模範となるものであると同時に、HOPE 計画の目指す地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりの実態や、あるいは今後のすまいづくり、まちづくりを考える上での貴重な資料となるものである。そこで当研究所では、HOPE 計画の 20 年を振り返る資料として、本研究資料を出版することとした。当研究資料が、すまいづくり、まちづくりを推進しようとする市区町村や都道府県の担当者、あるいはコンサルタントや地元で活躍する人々、さらにはすまいづくりやまちづくりを研究する研究者等にお使いいただければ、まことに幸いである。

最後に、資料の収集にご協力いただいた関係各位に厚くお礼申し上げたい。

平成 16 年 3 月

国土交通省
国土技術政策総合研究所 副所長
佐々木 宏